



新世紀のキャンパス
Campus of New Century

モード学園 コクーンタワー



卒業生の来校をメインに、多目的に使用できる最上階(50階)の卒業生ラウンジ。

繭の糸を全体に張り巡らせたユニークなモード学園コクーンタワー外観。



ニューヨークのソーホーをイメージしたクリエイションルーム。

東京の副都心、新宿駅前に蕪の形の巨大なビルが誕生した。学校法人モード学園の新校舎「モード学園コクーンタワー」だ。個性的なデザインについて、谷まさる学長はこう語る。

「社会に飛び出す前の若者を大切に育てて羽ばたかせたい。かつ、建物はユニークでなければならない。見ることで感性を刺激し、教え導くことが大切だ。それは外観だけでなく中味も同様で、同じサイズの空間がただ並んでいるのではなく、変化に富ませることで脳を活性化させる。“環境が人を育てる”とはそういうことだ。」

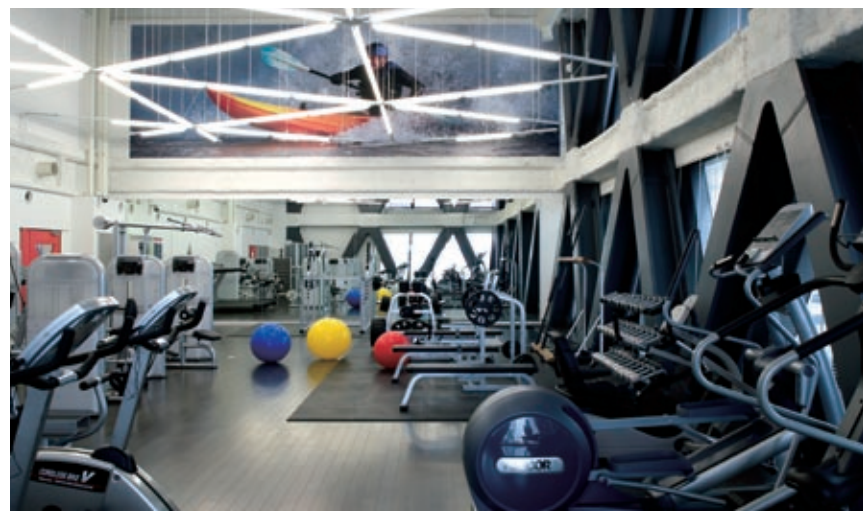
地上50階建て、高さ200メートルのビルは、日本で最も高い校舎になる。上層階にはファッションの「東京モード学園」、中層階にはIT・デジタルコンテンツの「HAL東京」、低層階には医療・福祉の「首都医校」と3校が結集し、複数の専門知識を融合させる「異種結合」を実現した。モードでは学科間コラボレーション（学科間融合）と産学連携を推進し、HALでは任天堂・マイクロソフトなど業界トップ企業との産学連携、医校では学科間交流によるチーム医療を学ぶ。そして、3校での学校間プロジェクト（学学連携）を学ぶことも可能だ。

これまでの学校建築とは異なる立体キャンパスとして、3層吹抜けの「学生サロン」を随所に配置。なかでも生徒から最も評判がよいのが2層吹抜け構造の「クリエイションルーム」だ。2階にも机と椅子が配置され、ロフトにいるような遊び心が加えられた教室は、上記のモードの学科間融合や学学連携など、多目的授業に使用する。

さらに、コクーンタワーに直結する6階建ての卵形の低層棟には、2つのホールを完備。Aホール（450人収容）にはファッションショーを行う花道があり、Bホール（538人収容）には、座学ができる長机と椅子を設置している。

ユニークな建物設備を最大限に活用し、特別講義として有名歌手によるサプライズライブや、世界的クリエイターや医療分野の権威の講義等を行うなど、夢に近づく体験を得られるのも、専門学校としての学校法人モード学園の魅力。ここにも“環境が人を育てる”が息づいている。

トレーニングルームでは、アスレチックトレーナーやスポーツトレーナーを目指して勉強する。



本物のサロン同様、接客から施術までを学ぶサロン実習室。



ミュージック学科の生徒が使用するプロ顔負けのレコーディングスタジオ。



最先端の医用工学機器を完備し、臨床に近い環境で実習できる臨床工学実習室。



任天堂との教育提携により、プロ用ゲーム開発環境を導入したゲームスタジオ。

講義、ファッションショーの他に、試写会や企業の製品発表会なども行われるコクーンAホール。

